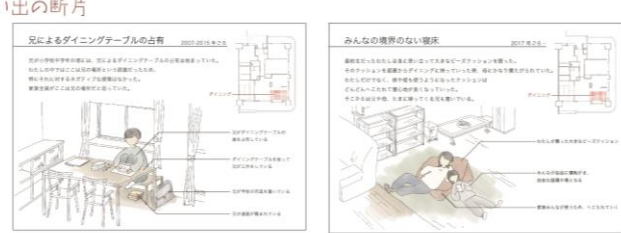
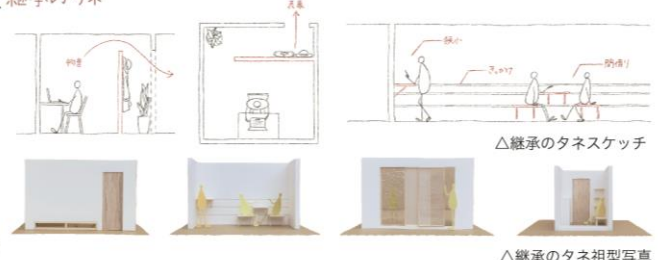
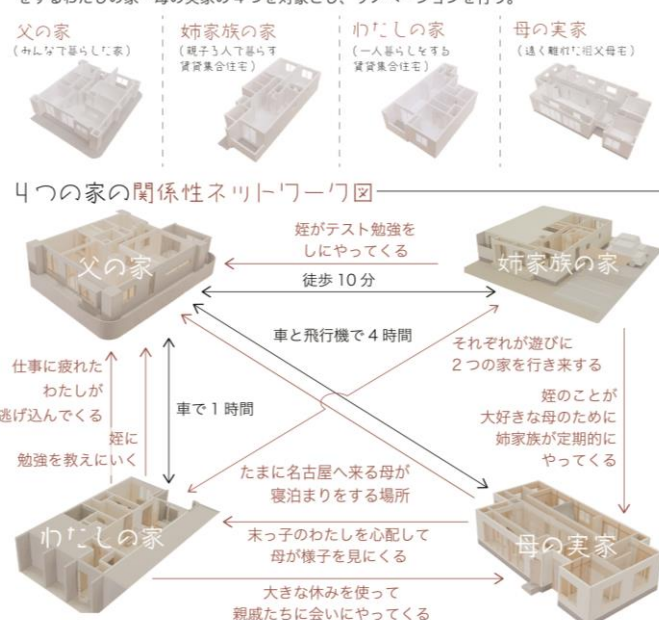
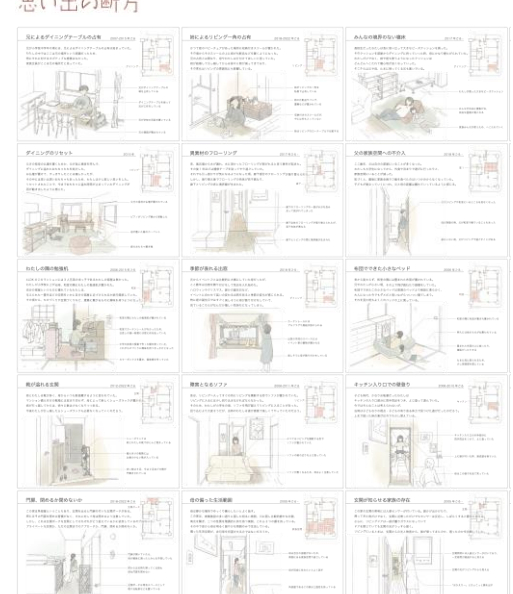
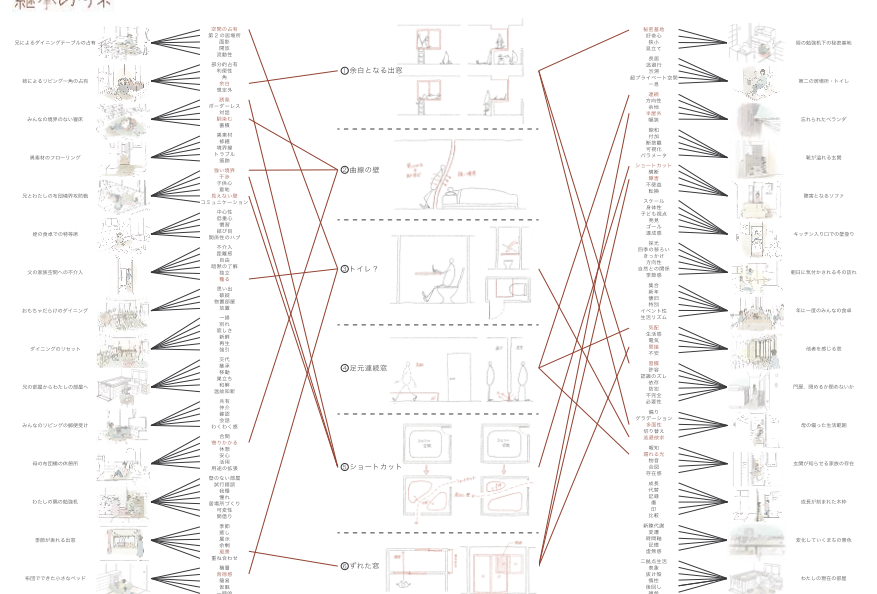


学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

| | | |
|-----------------|---|-----|
| 受賞年 | 2023年 | |
| 受賞タイトル | 優秀賞 | |
| 区分 | Ⅱ. 生活ディスプレイデザイン | |
| フリガナ | バンヤ アカリ | |
| 制作者名 | 番屋 愛香里 | |
| フリガナ | ダイドウダイガク コウガクブ ケンチクガクカ | |
| 卒業時の大学 学部・学科 | 大同大学 工学部 建築学科(2023年3月) | |
| フリガナ | ヨネザワ タシ | 職名 |
| 推薦者名 | 米澤 隆 | 准教授 |
| フリガナ | シアワセナカゾクノカイトイホウホウ | |
| 作品名 | しあわせな家族の解体方法 | |
| 概要 | <p>しあわせな家族の解体方法</p> <p>1. 思い出の断片</p>  <p>2. 継承のタネ</p>  <p>3. タネの植え付け</p> <p>生成した継承のタネを家族それぞれが暮らしていく住空間の計画に用いていく。その際、個々の住空間のコンセプトだけではなく、他の住空間との関係性も意識しながら継承のタネを選び、植え付けていくことで、関係性のネットワーク化を図っている。</p> <p>4つの家</p> <p>本設計では両親が離婚したことを想定し、父が一人で暮らす父の家・姉家族の家・一人暮らしをするわたしの家・母の実家の4つを対象とし、リノベーションを行う。</p>  <p>思い出の断片</p>  <p>継承のタネ</p>  | |

| | |
|------|--------------|
| 制作者名 | 番屋 愛香里 |
| 作品名 | しあわせな家族の解体方法 |

【コンセプト解説】

「将来、実家に帰ろうかな。」冗談っぽくそういう母だったが、どこか真剣であった。わたしの両親は仮面夫婦である。末っ子のわたしが巣立ったら、きっと両親は離婚するのだろう。離婚と聞くとネガティブに捉えてしまうことが多いが、それは夫婦の関係の変化が家族全体の関係にも影響を及ぼすからではないだろうか。だからといって仮面夫婦というものを見過ごすことはできない。そこで本研究では、離婚することをポジティブに受けて、関係を断ち切るのではなく、それぞれが無理なくつながり、あるべき関係性でいられる「しあわせな家族の解体方法」を模索する。これは娘であるわたしから、さらには建築家としてのわたしから家族に宛てた「わたしの家族のこれから」の提案である。

